



この事業は、
国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）が
推奨する事業として認定を受けています

AEON
2015年3月27日
イオン株式会社

イオンの生物多様性の保全と持続可能な利用に向けた取り組みが、 国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）の連携事業として認定されました

このたび、「イオン 生物多様性方針」と「イオン 持続可能な調達原則」に基づく取り組みが、「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」より連携事業として認定を受けました。

イオンは小売業として、商品開発や店舗建設の際、お客さまやサプライチェーンに関わる皆さまとともに環境・生態系の保全に配慮し、持続可能な資源調達を推進してきました。本連携事業の認定は、事業活動を通じたこれらの取り組みが生物多様性の保全と持続可能な利用の両面で具体的な効果が期待できるとして評価されたものです。

このたび評価を受けた主な取り組みは以下の通りです。

【イオン 生物多様性方針の取り組み例】

商品	店舗
「トップバリュ グリーンアイ」の商品企画及び販売 生産現場でのエコ農業体験プロジェクトの実施	「イオン ふるさとの森づくり」

※詳細は[ご参考](#)

【イオン 持続可能な調達原則に基づく取り組み例】

商品	店舗
MSC・ASC認証の水産物の商品企画及び販売 FSC®認証商品の販売	国産FSC®認証材を活用した店舗建設

※詳細は[ご参考](#)

イオンは、農産物や水産物など生きものの恵みなしに事業活動は成り立たないという認識のもと、持続可能な社会のために必要な生物多様性の保全を目指し、2010年3月に「イオン 生物多様性方針」を策定しました。また、自然資源の持続可能性と事業活動の継続的発展の両立を目指し、昨年2月に「イオン 持続可能な調達原則」を制定しました。この原則に従い、急速な自然減少が危惧される水産物についても調達方針を制定しています。

イオンはこれからも、お客さまやお取引先さまとともに、継続的、発展的な生物多様性の保全と持続可能な取り組みを積極的に推進していきます。

【国連生物多様性の10年日本委員会について】

生物多様性条約 第10回締約国会議（COP10）において、採択された愛知目標の達成に向け、国際社会の多くのセクターの参画と連携を促進し、生物多様性の保全と持続可能な取り組みを推進するため、2011年に設立されました。国連自然保護連合日本委員会（UNDB-Jメンバー）が展開する「にじゅうまるプロジェクト」と連携し、登録事業のほか、UNDB-J構成団体や関係省庁の関連する事業の中から、「多様な主体の連携」、「取組の重要性」、「取組の広報の効果」などの観点から総合的に判断し、UNDB-Jが推奨する事業を認定しています。認定された事業は、今後国連生物多様性の10年日本委員会としてロゴの使用が認められるほか、さまざまな広報支援を受けることができます。

詳しくはこちら：<http://undb.jp/about/>

ご参考

【トップバリュ グリーンアイ】

お客さまへのすこやかなくらしを提供するべく1993年に誕生した、安全・安心と自然環境への配慮にこだわったイオンのプライベートブランドです。2014年10月には同ブランドより、農薬や化学肥料に頼らず、自然の力を活かしてつくられた有機農産物や有機畜産物、またその加工食品を、オーガニックシリーズとして国内大手小売業のプライベートブランドでは最大規模の120品目を発売し、2015年2月現在137品目を販売しています。

【エコ農業体験プロジェクト】

「イオン チアーズクラブ」(※地域の環境問題に関心を持ち、考える力を育て、集団行動を通じて社会的なルール、マナーを学ぶ活動)に参加する子どもたちやその保護者の方々が、全国の「トップバリュ グリーンアイ」の産地を訪れる「エコ農業体験プロジェクト」を2012年より実施しています。参加者は、環境に配慮した野菜づくりや安全・安心のための工夫、おいしさのこだわりについて、農業体験を通じて学びます。2015年2月末現在、累計70産地、3,268名の参加者に自然と農業の関わりを学ぶ場を提供しています。

【イオン ふるさとの森づくり】

イオンは、1991年から新しい店舗がオープンする際に、お客さまとともに店舗の敷地内に「ふるさとの木」を植える「イオン ふるさとの森づくり」を実施しています。例えば、2014年6月に実施したイオンモール名古屋茶屋では、約3,000人のお客さまと従業員が地域に自生する約20,000本の苗木を植えました。これからも、新しくできる店舗が地域に根ざし、コミュニティの場となること、緑を育む心がさらに広がることを願い、地域のお客さまとともに木を植え、育ててまいります。

【MSC認証・ASC認証について】



「MSC (Marine Stewardship Council: 海洋管理協議会)」は、水産資源の持続性と環境保全に配慮し、適切に管理された漁業に認証を与えられるもので、漁業で漁獲された魚介原料のみを使用し、製品化されたものにMSCラベルの認証を付けることができます。イオンは2006年に「MSC認証」商品の取り扱いを開始し、現在日本の小売業最多の13種23品目を販売しています。昨今、水産資源の乱獲や枯渇が問題視される中、世界でMSCラベルが付いた製品が普及し始めており、注目が高まっています。また、2014年3月からは環境に大きな負担をかけず、地域社会や人権にも配慮した責任ある養殖により生産された水産物に与えられる「ASC (Aquaculture Stewardship Council: 水産養殖管理協議会) 認証」を取得した商品を販売開始し、現在2種7品目を取り扱っています。

【FSC認証について】



責任ある森林管理のマーク

「FSC® (Forest Stewardship Council®; 森林管理協議会) 認証」は、適切に管理された持続可能な森から生産された木材や紙であることを認証する認証団体です。イオンは2008年以来FSC®認証紙を使用したノートなどを販売しています。また、2011年からは衣料品の値札やタグに、FSC®認証の資材を使用しています。グループ企業のミニストップ株式会社では、2009年より日本初となる国産FSC®認証木材を使用した木造店舗の展開を開始し、2015年2月末で108店舗となりました。

ご参考: http://www.ministop.co.jp/corporate/release/detail.html?press_id=10418

「MSC認証」・「ASC認証」・「FSC認証」商品について詳しくはこちら:
「トップバリュ 環境・社会貢献活動」<https://www.topvalu.net/brand/csr/ecosystem/>